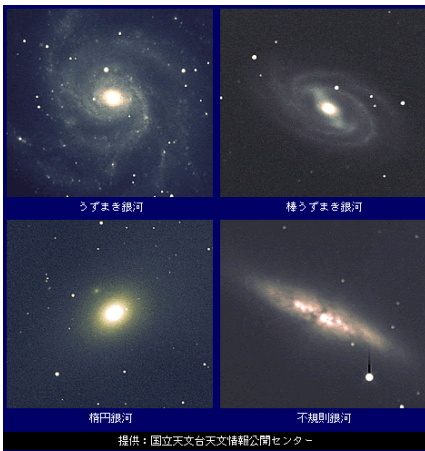


資料 1 「地球の住所」

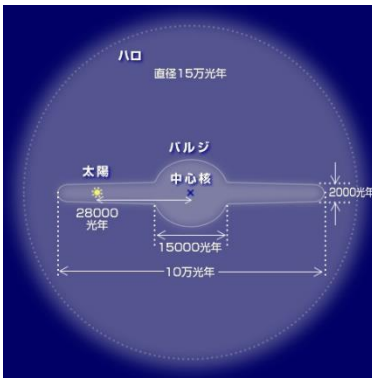
ハッブル望遠鏡による研究で、広大な宇宙には、1000億～2000億の銀河があるといわれていましたが、最近の研究によるとその 10 倍の 2 兆個以上あるといわれるようになりました。その銀河が、数10個集まって「銀河団」銀河団、数百～数千の銀河が集まって銀河群を作っています。銀河系は、おとめ座超銀河団の中です。その中の太陽系がある銀河を銀河系(別の呼び方では、天の川銀河)と呼びます。



国立科学博物館 HP より

銀河には、恒星やガスなどが様々な形に集まっているようです。銀河の中心にはブラックホールと呼ばれている大きな重力の塊があるといわれています。

銀河系は、どのような集まりなのでしょう。夜空に見える「天の川」はこの銀河系の星々なのです。銀河系には 2000億～4000億の恒星があるといわれています。



国立科学博物館 HP より

太陽系は太陽に近い順に、水星・金星・地球・火星・木星・土星・天王星・海王星の惑星と、冥王星などの準惑星(2006年に惑星から準惑星に変更)や星間物質などの集まりのことを言います。

